

議題（2）説明事項

魚沼圏域内医療機関の状況について

- ・ 県立松代病院の入院機能を県立十日町病院へ統合（無床診療所化）すること。

機関名	役職名 氏名	意見等	回答
魚沼市立 小出病院	魚沼市医療公社 理事長 布施 克也	資料2-変更理由について 「入院患者は高齢者が多く・・・対応には、総合的・包括的な医療的ケアが必要とされていることから、小規模病院では難しいものとなっている。」 松代病院では総合診療専門医が在籍し「総合的・包括的」に患者を診ている。地域を支えるオールラウンドプレイヤーとして、扱う問題の広さと多様性が特徴であり、医療資源の少ない地域の小規模病院でこそ必要と考えられるのでその辺りを含めて文面の改善を願いたい。また、松代病院は無床化となるが、地域住民に対して「ベッドは無くなるが進化はする」というメッセージやビジョンが必要なのではないか。	1 変更理由の修正について 松代病院では総合診療専門医が在籍し、幅広い疾患を「総合的・包括的」に診療しておりますが、医療提供体制に限りがある小規模病院であり、後期高齢者の入院患者への十分な対応が困難となってきたことが今回の無床診療所化の理由であるため、いただいたご意見を踏まえ以下の内容を踏まえ、修正いたします。 松代病院は地域住民の医療の窓口の機能を担ってきましたが、入院患者の半数以上を占める後期高齢者は「多病」、「多様」、「非定型」という特徴を有しており、複数の疾患の併発や急変への対応、スムーズな在宅復帰への支援等が求められるものの、多職種を必要とする医療人材や機器・設備に限りがある小規模病院であるため、こうした課題への十分な対応が困難になってきています。 このため、医療資源がより充実している十日町病院に、その機能・体制を見直した上で入院機能を集約し、引き続き外来機能と訪問診療等の在宅支援や地域の介護施設との連携機能を有する診療所として、医療提供体制を見直すことにします。 2 進化に向けた取組について また、地域の医療需要に合わせ、現在精神科のみで行っているオンライン診療（平均2カ月に1回実施）の拡充や、訪問診療・訪問看護でのデジタル技術の活用について検討していきます。
南魚沼市立 南魚沼市民病院	病院事業管理者兼院長 外山 千也	現在の新潟県の医療計画が在宅重視であるなら、なおさら松代病院の病床を十日町病院に吸収した場合、退院後の松代・松之山地区の住民（患者）の在宅医療を支える具体的なサービス提供体制について統合以前に打ち立てるべきである。 なお、このような在宅医療体制が整備されていないと十日町病院の地域包括ケア病床の在宅復帰率が診療報酬基準を満たさないこととなり、結果として十日町病院の収支の悪化も招くこととなる。	松代病院の病床機能を十日町病院に集約するに当たり、以下により松代・松之山地域の住民の在宅医療を支えていく方針です。 ・現在（令和7年8月末累計）の実施規模（訪問診療：月51件、訪問看護：月34件）を維持するとともに、今後想定される地域の在宅医療の需要増加に対応できるよう人員を配置する予定です。 なお、現在の患者サポートセンターが担っている地域の介護施設等との連携機能は外来の看護部門に引き続き残します。 また、現在精神科の外来のみとなっているオンライン診療（平均2カ月に1回実施）を訪問診療・訪問看護でも活用できるよう検討してまいります。
県立松代病院	院長 吉嶺 文俊	他の地域と比較して、魚沼圏域内における慢性期病床は極端に少ないが、松代病院の病床を他の医療機関に振替えなくてよいのか。 とくに信濃川筋においては介護老人保健施設も皆無であり、急性期を脱した患者の受け入れ先が圏域外（県外も）に頼らざるを得ない状況になっており、危機的である。	松代病院の無床診療所化に伴い、入院機能を集約する十日町病院の病棟機能（構成）について変更を行うこととしておりますが、10月7日開催の地域医療構想調整会議で協議させていただきます。 なお、慢性期病床の確保については、引き続き調整会議で協議していくものと考えております。
十日町福祉会	常務理事 松村 実	地元説明会以降、松代、松之山地域の介護施設の協力医療機関について意見交換を行っている中で、介護施設嘱託医として松代病院の役割は重要で、今後は入院対応機関である十日町病院と嘱託医、介護施設の連携が要となる。ICTを活用した連携を含めその在り方を新潟県も共に考えるべきと思う。 診療所化しても現行の診療科は残すとあるが、現在の医師体制が引き継がれるのか地元としては大きな不安がある。既に顔の見える関係ができており、かかりつけ医として機能している。 デジタル技術の活用についての言及もあった。具体的にデモンストレーションを行うと地元の理解が深まると思う。	これまで松代病院の医師が果たしてきた介護施設嘱託医については、十日町病院と（仮）松代診療所が連携し、介護施設と十分に協議した上で、しっかりと対応できる体制を構築してまいります。 また、現在の松代病院の患者サポートセンターが担っている地域の介護施設等との連携機能は、診療所化後も外来看護部で引き続き担ってまいります。 デジタル技術の活用につきましては、現在精神科外来のみで実施（平均2カ月に1回実施）していますが、訪問診療等での活用と併せ、具体的なデモンストレーションの実施も検討してまいります。
南魚沼市 （福祉保健部）	介護高齢課長 佐々木 百代	方向性に示されているとおり、多病多様非定型の疾病を十日町病院で受入れることで、圏域内の病院、介護施設への影響がないように対応いただきたい。	これまで介護施設等への訪問を通じ、松代病院の入院機能を十日町病院へ集約するに当たっては、圏域内の病院、介護施設と連携し、調整を図りながら進めていきたいと考えており、影響が生じないように対応してまいります。
十日町市 （市民福祉部）	地域ケア推進課長 小林 良久	住民説明会時での質問等で、次回（9月）回しとしたものについて事前に方針を示すなど、丁寧な説明に徹していただきたい。 また、「参考資料4」では触れられていないが、市外病院利用者への説明や、当日参加できなかった方の意見も広く求めるよう要望があった点についても対応願いたい。	8月1日に上越市大島区で住民説明会を開催したほか、前回の住民説明会開催後にいただいた質問への回答等を通じ、可能な範囲で情報提供、丁寧な説明に努めてまいりました。今後も地元十日町市からの協力も得ながら、様々な機会、手法を通じ、広報に努めてまいります。